ボランティアに行ってきました

ジャパンパラ水泳競技大会

松浦　秀明

７月 13 日、14 日、15 日とジャパンパラ水泳競技大会に受付、ミックスゾーン、シャペロンの各３パートのボランティアとして行って来ました。他には、会場係、報道担当、大会本部、誘導、招集など、様々な部分で協議会の面々が居ました。

まず初日は、準備と受付です。受付では、競技者証と参加記念品（プログラムとタオルなど）を本人の確認をしながら渡す内容です。選手一人ひとりと近くで会話でき一体感が生まれました。２日目は、シャペロンという初めての仕事でした、ドーピング検査が行われておりましたので、そのサポートをするものでした。競技後、お話し理解いただき検査所まで誘導するものです。（すごく緊張しました）。３日目はミックスゾーンの監視兼記者の方の誘導です。選手がインタビューや写真撮影をする場合、場所が決まっていますので、それ以外での写真撮影禁止の呼びかけや、選手が撮影機材などで事故が起こらないように注意する役目です。

今回の大会は、ボランティアの応募が多く、漏れた方も居るとお聞きしました。その中、３日間、競技大会に協力でき、充実した３日間を過ごすことができました。感謝しています。

来年度は、オリンピックの関係もあり、東京での開催になるかも分かりませんが、大阪で開催があれば手伝いできればと思っております。

大阪市ふれあい水泳大会

金笠　いつ子

自分が近い将来、何か障害を持つようになったとき、スポーツというより身体を動かすことで「生きる力」「生活する喜び」を得られることを知り、少しでも役に立つことが、あれば良いと平成１１年９月に日本障碍者スポーツ競技会の初級スポーツ指導員の資格を取りました。最初はボランティア活動には積極的に参加しようと意気込んでいましたが、子どもたちの受験、就職、結婚等でスケジュールが合わず参加できない日が続きました。それに輪をかけて両親の介護、パートの仕事のことで忙しく年に１・２回だけの参加となっていました。昨年よりやっと自分の時間がとれるようになり、大阪市舞洲障がい者スポーツセンターで行われる「大阪市ふれあい水泳大会」に行けるようになりました。今回の担当は、誘導員で招集場所からコース横の選手待機場所まで選手を誘導する係りでした。開会式のあと「介助者つき２５m 自由形」から始まり「男女自由形」昼休憩をはさみ「浮助具つき２５m 自由形」「めざせ完泳！２５m 自由形」「男女背泳ぎ」「男女平泳ぎ」「男女バタフライ」「男女５０m 自由形」と競技は進みました。１０分の休憩のあと最後の「１００m リレー」は大変盛り上がりました。会場にいる選手、役員、２階の観客がみんなひとつになって応援しました。選手の皆さんの明るい笑顔に励まされ、最後まで頑張る選手を介助する方の粘り強さに感動しました。そしてたくさんの学生ボランティアの参加にも感動し、事故もなく無事に終わりほっとしました。

協議会だより

平成２５年１２月２５日　第７１号

発行・編集　大阪障害者スポーツ指導者協議会 広報部

大阪市東住吉区長居公園１－３２　大阪市長居障害者スポーツセンター内

ＦＡＸ　０６－６６９７－８６１３

http://osaka-adspo.org/

スポーツ祭東京 2013

第 13 回全国障害者スポーツ大会

大阪府選手団

大阪市選手団

堺市選手団

国体から引き継いだ火を点火

味の素スタジアム

開会式での大阪市選手団

平成 25 年 10 月 12 日（土）～14 日（月）味の素スタジアムで第 13 回全国障害者スポーツ大会が行われました。5 月に行われる府・市スポーツ大会は全国障害者スポーツ大会の選考会でもあります。選ばれた選手たちは、この本番に合わせて日々練習を重ねてきました。また７月、８月は猛暑で屋外のスポーツは大変だったと思います。天候に恵まれ大阪府・大阪市・堺市選手団選手の皆さんは、日頃の練習成果を思う存分発揮し頑張りました。陸上競技、水泳競技、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ボウリングの合計メダル数は下記の通りです。来年は長崎県で行われます。応援します。

	選手延数	金	銀	銅
大阪府	129	55	28	10
大阪市	85	32	17	9
堺市	40	15	7	7

無事、納火されました

2013ENJOY 長居フェスティバル
「第２回スポーツいろいろカーニバル」

2013 年 10 月６日（日）、大阪市長居障がい者スポーツセンターにおいて「2013EENJOY 長居フェスティバル」が開催されました。その中で体育室の企画を大阪障害者スポーツ指導者協議会が担当することになりました。「第 2 回スポーツいろいろカーニバル」行い車椅子スラローム・風船バレー・ビームライフルを体験しました。

スポーツいろいろカーニバル

久保　漣

《車いすスラローム》

体育館の右半面を利用して様々な障害物のあるコースを作成し、午前は車いすでコースを体験しながら車いすの基本動作を練習し、午後からはタイムの計測を行った。

〈コース内容〉

スタートしてすぐコーンで作ったカーブやクランクを前進で進み、次に幅 90～100 ㎝に制限した道をバックですり抜ける。車いす 1 台がギリギリ通れる幅なので、左右を確認し慎重に進まなくてはならない。次にロープで段差を作ったガタガタ道を前進で進むコースが、前輪にロープがひっかかりイライラを誘う。イライラゾーンを抜けると、厚さ約 5 ㎝のマットを乗り越える最大の難関が待ち構えている。前輪を上げる技術と沈み込むマットの上を進む腕力が求められる。これらの障害物をクリアし、最後に大切に膝の上に乗せてきたバスケットボールをシュートして入った時点でゴールとなる。

〈感想〉

幼児から高齢者、障害のある方から無い方まで予想を上回るたくさんの方が来られて楽しんでいただけたと思う。車いすの操作方法を学ぶだけでなく、車いすユーザーの気持ちも理解できる良い機会だったと思う。タイムを計測することにより、どうすればさっきよりも早くクリアできるかを考え、厚いマットを後ろ向きに越える方法を自分で編み出した方が居たり自分なりに色々考えタイムアップを目指し何度も挑戦される方も多かった。

「スポーツいろいろカーニバル

鈴木　光一

今年で２回目になる「スポーツいろいろカーニバル」が、長居障がい者スポーツセンターで開催されました。大阪障害者スポーツ指導者協議会が主催をさせていただき、同協議会から１０名が参加しました。そして長居障がい者スポーツセンターの職員や長居障がい者スポーツセンターのセンターボランティア皆さんの協力を得てカーニバルの運営にあたりました。

秋晴れの中、長居障がい者スポーツセンター体育室に多数の参加者が集まってくれました。１０時から１６時までとほぼ一日中の開催でしたが、途切れることなく参加者が来てくれました。

いろいろなスポーツを楽しんでもらう内容として、風船バレー、ビームライフルと車いすを使用したスラローム走行の３種類の種目を設定しました。私自身もすべての種目に参加して、それぞれの楽しさ、面白さ、難しさを体験しました。

風船バレーは参加希望者全員が一度に参加できます。参加希望者を１回ごとのゲームの度に２つのチームに分けます。参加希望者の数により１チーム当たりの人数は変わりますが、だいたい４人から８人くらいまでの人数で１チームになりゲームを進めました。初めて会った者ばかりのチームで風船を打ち合いながらゲームを進めることもあります。このようなメンバーでのゲームですが、最初は他の人に遠慮しながら風船を片手で軽く打っていた人も、ゲームの途中から打ち合いになるようなゲーム展開があり、熱戦を繰り広げるようになると相手コートに強く打ち返したり、大きな声を掛け合いながらチームワークを考えてプレーをする人など、それぞれ自分に合ったスタイルで楽しんでいました。私もコートにつきそうになる風船を床ギリギリのところで打ち上げるプレーをしてチームに貢献できた。と思ったのもつかの間、そのまま転げて床で膝を打ってとても痛かったです。でも、その後に皆さんの楽しそうな声にいつしか痛さも忘れて自分自身もしっかり楽しんでいました。

車いすのスラロームもしましたが、なかなか難しく特に後ろ向きの時には左右の間隔がわからなくなるなど、車いすの操作に不慣れな自分が情けなかったです。

ビームライフルの難しさはやった人でないとわからないかと思いますが、とにかく集中力が必要です。難しかったです・・・

どの種目も盛況で参加者は楽しい時間を過ごせたと思います。参加者の方の「楽しかった。」の一言が、次回のカーニバルを支えてくれます。次回のカーニバルはさらに期待されると思います。